



## 2023年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年3月13日

上場会社名 株式会社フィット 上場取引所 東  
 コード番号 1436 URL https://www.fit-group.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴江 崇文  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 溝手 妥 (TEL) 03(6433)5560  
 経営管理統括部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年4月期第3四半期の連結業績(2022年5月1日~2023年1月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第3四半期	6,390	16.1	345	△29.0	327	△35.2	210	△29.2
2022年4月期第3四半期	5,503	32.0	486	136.6	505	159.4	297	186.2

(注) 包括利益 2023年4月期第3四半期 206百万円(△30.1%) 2022年4月期第3四半期 294百万円(183.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第3四半期	51.61	51.58
2022年4月期第3四半期	71.19	71.13

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第3四半期	10,491	4,638	44.2
2022年4月期	10,715	4,472	41.7

(参考) 自己資本 2023年4月期第3四半期 4,638百万円 2022年4月期 4,467百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年4月期	—	0.00	—		
2023年4月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日~2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,000	11.3	500	4.5	500	2.8	320	78.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年4月期3Q	4,284,200株	2022年4月期	4,283,200株
② 期末自己株式数	2023年4月期3Q	208,370株	2022年4月期	208,370株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年4月期3Q	4,075,384株	2022年4月期3Q	4,174,958株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大を懸念しつつも経済活動の正常化へ徐々に持ち直しの動きを見せております。一方で為替の変動、原材料及び原油価格の上昇は継続しており、依然として不透明な状況で推移しております。

そのような状況の中、日本国内の再生可能エネルギー市場では、日本国内における再生可能エネルギー導入に向けた動きも加速しています。

経済産業省は2020年12月に「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を公表し、再生可能エネルギー電源の比率を50～60%に高めることを参考値として示しました。

その上で、2021年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画においては、2030年度の総発電電力量に占める再生可能エネルギー比率を36～38%程度まで高める目標に設定しました。

また、内閣官房GX実行会議が2022年12月22日に策定した「GX実現に向けた基本方針(案)」においては、再生可能エネルギーの主力電源化や、GX投資先行インセンティブに向けた炭素排出に値付けをするカーボンプライシングの本格導入に向けた検討を進める方針が示されています。

当社グループにおきましては、太陽光発電施設及び太陽光発電システム標準搭載の住宅を中心に、環境問題に取り組む企業や個人のお客様のニーズにお応えし、太陽光発電による再生可能エネルギーの創出に取り組んでまいりました。

加えて、クリーンエネルギー商品、情報・サービスのマーケットプレイス「脱炭素デキルくん」の開発を行い、事業のDX化、コンテンツ及び会員を増やす取り組みを進め、今後の収益基盤の安定化に向け注力しております。

なお、当社グループの報告セグメントは、従来「クリーンエネルギー事業」「スマートホーム事業」「ストック事業」の3つを報告しておりましたが、2022年7月28日に「報告セグメントの変更に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、経営管理上の意思決定や業績区分を見直した結果、第1四半期連結会計期間より単一セグメントに変更しております。これにより、セグメントごとの経営成績については記載を省略しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,390,678千円(前年同四半期比16.1%増)、営業利益345,720千円(前年同四半期比29.0%減)、経常利益327,634千円(前年同四半期比35.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益210,332千円(前年同四半期比29.2%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は8,602,992千円(前連結会計年度末8,692,376千円)となり、89,384千円減少しました。主な要因は、製品が503,047千円、仕掛品が137,830千円、現金及び預金が92,040千円、前渡金が85,211千円、それぞれ減少した一方で、販売用不動産が741,320千円増加したこと等によるものです。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は1,888,594千円(前連結会計年度末2,023,356千円)となり、134,762千円減少しました。主な要因は、有形固定資産が72,054千円、投資その他の資産が37,436千円、それぞれ減少したこと等によるものです。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,617,921千円(前連結会計年度末3,633,993千円)となり、16,072千円減少しました。主な要因は、買掛金が248,983千円、未払法人税等が244,207千円、それぞれ減少した一方で、短期借入金が414,490千円増加したこと等によるものです。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2,235,449千円(前連結会計年度末2,609,543千円)となり、374,094千円減少しました。主な要因は、長期借入金が366,903千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は4,638,216千円(前連結会計年度末4,472,196千円)となり、166,019千円増加しました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により210,332千円増加した一方で、配当金の支払いにより40,748千円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、2023年4月期の業績予想につきましては、2022年6月13日付「2022年4月期決算短信」で公表いたしました業績予想数値から変更ございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,023,529	1,931,488
売掛金	125,972	131,718
販売用不動産	1,678,140	2,419,461
製品	1,523,424	1,020,376
仕掛品	1,032,875	895,044
材料貯蔵品	15,886	86,314
前渡金	162,408	77,197
営業投資有価証券	1,699,433	1,748,963
その他	430,706	292,427
流動資産合計	8,692,376	8,602,992
固定資産		
有形固定資産	1,322,468	1,250,414
無形固定資産	216,066	190,795
投資その他の資産		
その他	484,820	447,384
投資その他の資産合計	484,820	447,384
固定資産合計	2,023,356	1,888,594
資産合計	10,715,733	10,491,586
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	884,026	635,043
1年内返済予定の長期借入金	589,427	609,727
短期借入金	1,169,880	1,584,370
未払法人税等	250,658	6,451
前受金	365,733	458,882
賞与引当金	47,894	28,073
役員賞与引当金	15,000	6,750
完成工事補償引当金	72,603	60,586
その他	238,768	228,036
流動負債合計	3,633,993	3,617,921
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	2,001,379	1,634,475
繰延税金負債	601	546
資産除去債務	11,799	11,834
その他	295,763	288,591
固定負債合計	2,609,543	2,235,449
負債合計	6,243,536	5,853,370

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	979,911	980,201
資本剰余金	949,898	950,188
利益剰余金	2,713,018	2,882,602
自己株式	△174,983	△174,983
株主資本合計	4,467,843	4,638,007
新株予約権	85	208
非支配株主持分	4,268	—
純資産合計	4,472,196	4,638,216
負債純資産合計	10,715,733	10,491,586

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2022年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2023年1月31日)
売上高	5,503,210	6,390,678
売上原価	3,922,824	4,845,445
売上総利益	1,580,386	1,545,232
販売費及び一般管理費	1,093,617	1,199,512
営業利益	486,768	345,720
営業外収益		
受取利息	1,170	116
受取損害賠償金	19,500	—
受取保険金	18,280	10,959
助成金収入	—	2,633
その他	6,362	6,816
営業外収益合計	45,313	20,525
営業外費用		
支払利息	16,220	27,613
社債利息	604	1,496
持分法による投資損失	8,455	—
為替差損	—	282
その他	1,335	9,219
営業外費用合計	26,615	38,611
経常利益	505,466	327,634
特別損失		
固定資産除売却損	—	219
投資有価証券評価損	—	14,700
特別損失合計	—	14,919
税金等調整前四半期純利益	505,466	312,715
法人税、住民税及び事業税	198,916	85,943
法人税等調整額	11,870	20,707
法人税等合計	210,787	106,651
四半期純利益	294,679	206,064
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,535	△4,268
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,214	210,332



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)
四半期純利益	294,679	206,064
四半期包括利益	294,679	206,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,214	210,332
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,535	△4,268

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。